

令和5年度 第1回 都田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月18日(木) 13時15分から15時15分まで
- 2 開催場所 都田小学校 会議室
- 3 出席委員 小林 宗吉、山下 英治、波多野 千津子、森上 茂美、鈴木 智江
木宮 敬信、影山 善久、内山 眸、桐生 大輔
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 松下 欣美(校長)、井島 健蔵(教頭)、杉浦ひとみ(CSディレクター)
船木華名子(生徒指導)

- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 杉浦ひとみ

8 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、森上委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された森上委員から、影山委員を副会長に指名する旨の報告があった。

9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、影山委員から桐生委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 都田小学校運営基本方針について
- (2) 都田小学校いじめ防止基本方針について
～地域、家庭でできることについて～
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

授業参観の感想として、委員からは以下の発言があった。

- ・各学年ではバラエティーに富んだ授業や、廊下の絵がとても良かった。6年生では保健室での授業があり、保健の先生に普段聞けないことを質問していた。(森上委員)
- ・コロナ禍より平常の授業に移行している様子がうかがえた。(波多野委員)
- ・授業に熱気があって良かった。クーラーがあると尚良い。各学年によって掲示物が違う。殺風景のクラスがあったのが気になった。(影山委員)
- ・参加させていただき各学年とても楽しそうで良かった。先生が友達と一緒にやりましようとして声かけした際、グループで仲良くやる児童もあれば、グループにならず一人の

児童もいたのが気になった。(鈴木委員)

- ・担任の先生はほとんどマスクを外している。先生の表情が見ることができることはとても良い。何か言われる際に、先生の表情を見ることで受け取り方、感じ方が全く違う。(内山委員)
- ・気になった点として、子供たちがしている名札の扱いに個人差があること。付けている子、付けていない子、名札の表裏。みんなバラバラ。名札を付ける趣旨が子供たちに十分に伝わっていないのではないかと。また廊下のヘルメットの掛け方が、クラスによって違う。3年生はとても整列されていた。防災上の観点からヘルメットの掛け方を指導することも大切。(木宮委員)
- ・先生の字がとてもきれい(小林委員)
- ・みどりの森都田の頃から知っている子供たちの成長を感じられた。(桐生委員)

(1) 都田小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長からパワーポイントと別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があった。

全員、異議なくこれを承認した。

(2) 都田小学校いじめ防止基本方針について

～地域、家庭でできることについて～

議長の指示により、生徒指導担当の船木から、別紙資料に基づきいじめ防止基本方針に関する説明と、都田小学校における未然防止の取組として、すこやかアンケートやほかほかメッセージ、構成的グループエンカウンターの実施について説明があった。委員からは、以下の発言があった。

- ・いじめに対して、細かい対策マニュアルがあることを親御さんが知らない。泣き寝入りをしている実情もある。いじめは毅然と対応できるようになってきている。また都田小学校では河西訓導さんという方から広まった、教育の最大のテーマである「命の尊厳」について学ぶことができる環境であり、とても素晴らしい。(桐生委員)
- ・自分たちの小学校の時に比べ世間がいじめの捉え方が違う。(山下委員)
- ・いじめの定義を作ることで、Bさんのやったことをいじめに認定してしまうことで、逆にそれがBさんをいじめていることにつながるのではないかと。(小林委員)
- ・学校の規模に関係なく起ることであり、またネットの介在によって、可視化できないのでより難しい。今日の音楽の授業を拝見し、一人でやっている女の子に対し、一人でさせた方が良いか、グループを作るように伝えた方が良いのか、先生の対応が大変だと感じた。今の子供たちは人間関係があまりに複雑で、ガラスのように感じた。今の先生方は本当に大変。(鈴木委員)
- ・私自身も子育て中であり、いじめは家庭環境が関係していることを感じている。親の私自身が子供にいじめをしない、またいじめをされないようにと普段から教

えていく必要がある。自宅は同居であり、祖父母のおかげで子供の言葉遣いがとても丁寧になった。いじめは言葉に出して始まるため、言葉がけ一つで変わってくるのでは。友達とけんかをしたときも、どうして相手の子を傷つけたのかをしっかりと向き合い話をしている。(内山委員)

- ・都田小学校は1学年1クラスであり、6年間同じクラス。人数が少なく、競争が少ない。メンタルの強さが育まれ難い。体育の授業でも競い合わないことで、些細なことで落ち込んでしまう大人になってしまうのでは。(木宮委員)
 - ・小規模の学校はいじめに対し家庭の支えも必要であり、親がどれだけ一緒に助けてくれるか、そして相手だけでなく自分にも非があったことを一緒に話し合うことが大切。(森下委員)
 - ・都田小学校は温室。今後社会に出たときのことを考えると・・・。(影山委員)
 - ・高学年になっていくことで見る目が育ち、ちょっとしたあつれきやいがみ合いが生じる。低学年と高学年の児童の対応が大変。(波多野委員)
 - ・先ほどの授業を拝見して、あの子供たちが本当にいじめをやるのかと感じた。本当にいいクラスだった。(山下委員)
 - ・先生たちは激務。副担任制を導入した方が良い。エンカウンターをやったことでどれだけ理解できているのかは疑問である。エンカウンターだけに頼ることは難しいのでは。またほかほかメッセージではなく、今の子供たちはゲームばかりやっていて人間関係が分からない子が多いので、自分の気持ちを伝えるツールとして用いても良いのではないか。(桐生委員)
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき、①命の尊厳を学ぶため、一人一鉢栽培を行うこと②地域の伝統芸能である「滝沢の放歌踊り」継承のため、必要な道具の整備を行い、指導者を招聘し、クラブ活動を行うことについて説明があった。

全員、異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は2023年6月21日(水)午後13:30から会議室で開催する旨の報告があった。